

川崎市福祉のまちづくり条例の一部を改正する条例をここに公布する。

令和 7 年 3 月 2 6 日

川崎市長 福 田 紀 彦

川崎市条例第 3 3 号

川崎市福祉のまちづくり条例の一部を改正する条例

川崎市福祉のまちづくり条例（平成 9 年川崎市条例第 3 6 号）の一部を次のように改正する。

第 1 0 条第 2 項第 1 号中「第 1 8 条第 1 項」を「第 1 9 条第 1 項」に改める。

第 2 8 条第 2 項中「第 1 8 条第 2 項第 5 号」を「第 1 9 条第 2 項第 5 号」に改める。

第 2 9 条中「には、そのうち」を「（令第 1 4 条第 2 項の規定により車椅子使用者用便房（同項に規定する車椅子使用者用便房をいう。以下同じ。）を設ける場合を除く。）は、当該便所のうち 1 以上に、車椅子使用者用便房を」に、「は、次に掲げるものでなければならない」を「設けなければならない」に改め、同条各号を削り、同条に次の 2 項を加える。

- 2 不特定かつ多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する便所は、床の表面を滑りにくい材料で仕上げなければならない。
- 3 車椅子使用者用便房及び当該便房が設けられている便所の出入口の幅は、8 0 センチメートル以上としなければならない。

第 3 1 条中「の部分」の次に「（第 2 号、第 4 号又は第 5 号の経路が 2 以上

ある場合にあっては、いずれか１の経路に係る部分）」を加え、同条第２号中「第１８条第１項第１号」を「第１９条第１項第１号」に、「１以上の経路」を「経路（当該利用居室が令第１５条の劇場等の客席である場合にあっては、車椅子使用者用経路（令第１９条第１項第１号に規定する車椅子使用者用経路をいう。以下同じ。）を含む。））」に改め、同条第４号中「令第１４条第１項第１号に規定する」を削り、「１以上の経路」を「経路（当該利用居室が令第１５条の劇場等の客席である場合にあっては、車椅子使用者用経路を含む。））」に改め、同条第５号中「第１７条第１項」を「第１８条第１項」に、「第２２条第５号」を「第２３条第５号」に、「１以上の経路」を「経路（当該利用居室が令第１５条の劇場等の客席である場合にあっては、車椅子使用者用経路を含む。））」に改める。

第３２条中「第２９条及び」を「第２９条第１項及び第２項並びに」に改める。

第３３条中「第１６条の」を「第１７条の」に、「第１７条の」を「第１８条の」に、「第１８条の」を「第１９条の」に、「第２０条第１項及び第２項」を「第２１条第１項及び第２項」に、「第２１条の」を「第２２条の」に、「第１８条第１項中「次に」」を「第１９条第１項中「次の各号に」」に、「第１４条まで、第１６条、第１７条第１項及び第１８条第１項」を「第１３条まで、第１４条第１項、第１７条、第１８条第１項及び第１９条第１項」に、「のもの」を「の者」に改める。

附 則

（施行期日）

- １ この条例は、令和７年６月１日から施行する。

（経過措置）

- ２ 改正後の条例（以下「新条例」という。）第２９条第１項、第２項（これ

らの規定を新条例第 3 2 条の規定により読み替えて適用する場合を含む。) 及び第 3 項並びに第 3 1 条 (第 2 号、第 4 号及び第 5 号に係る部分に限る。) の規定は、新条例の施行の日以後に着手する特別特定建築物等 (川崎市福祉のまちづくり条例第 2 6 条に規定する特別特定建築物等をいう。以下同じ。) の建築 (用途の変更をして特別特定建築物等にするを含む。以下同じ。) 及び当該建築をした特別特定建築物等の維持について適用し、同日前に着手した特別特定建築物等の建築及び当該建築をした特別特定建築物等の維持については、なお従前の例による。